

翔



東京五輪の聖火リレーが4月2日、安曇野市で行われました。第一走者は豊科近代美術館を出発。合計13人のランナーが聖火をつなぎ、2・4キロのコースを駆け抜けました。沿道の観客は、拍手や手を振りながら、引き継がれていく炎を見送りました。



市役所玄関に掲示していた
カウントダウンボード



第一走者の元マウンテンバイク五輪代表の小林可奈子さんは、安曇野かけっこクラブと共に走りました。



炎



聖火リレーとは…

オリンピアの遺跡であるギリシャ・ヘラ神殿前で採火された炎を開会式までつなぐリレー。東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプトは、「希望の道をつなごう。」支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだすことを目指しています。



奏



出発セレモニーでは、豊科高校吹奏楽部の明るく軽快な演奏が披露されました。



笑

聖火リレーは、新型コロナウイルスの感染対策を実施する中での開催となりました。沿道には、この日のために募集した市民の笑顔の写真が飾られ、聖火をつなぐランナーを見守りました。

かけがえのない時間に



上條友代さん
豊科高校吹奏楽部

セレモニーでは新しい先生とメンバーでの初演奏となりました。心機一転という気持ちで、爽やかな演奏を届けたいと思いました。

小平 百葉さん
安曇野かけっこクラブ



仲間と一緒に聖火と走れたことがうれしいです。かけがえのない思い出になりました。桜が満開で、気持ち良かったです。



灯

聖火が到着する前日、イベントとして、LED電球を仕込んだ風船「スカイランタン」がスタート地点となる豊科近代美術館屋外広場に浮かび上がりました。



東京2020 オリンピック 聖火リレー

フотスナップ